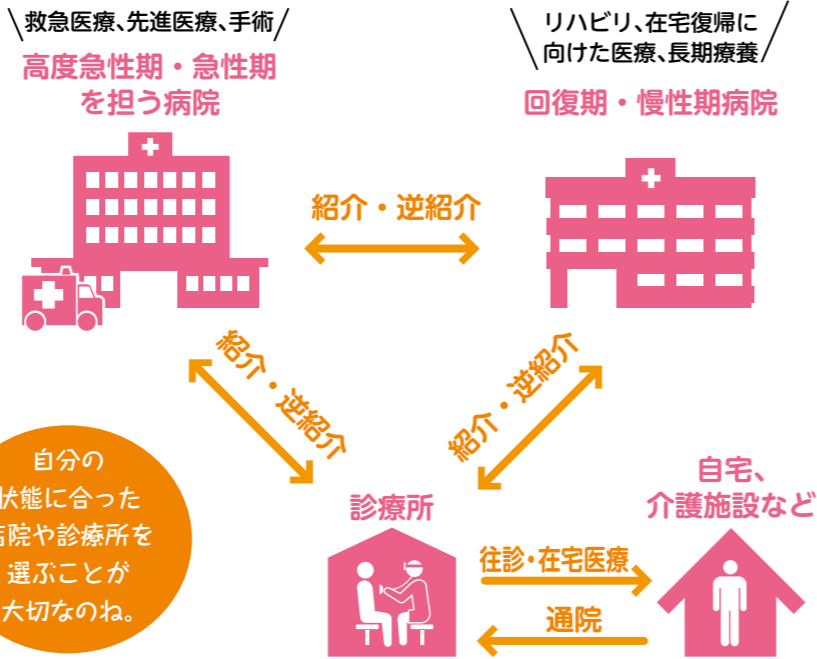


私達が知っておくべきことは？

医療機関の役割を考えて受診しましょう

診療所は、病気やけがの初期の治療、長い間薬を飲んだり、検査したりする必要がある病気の治療、予防接種、健康管理などを行います。病院には、高度な技術や機械が必要な病気やけがの治療、検査を行う病院やリハビリなどを中心とした治療を行う病院があります。病気になったときやけがをした時には、自分の状態に応じた診療所や病院に行くことで、より適切なサービスを受けることができます。診療所や病院の機能や役割を理解し、まずはかかりつけ医に相談して症状に合った医療機関を受診しましょう。



自分の状態に合った病院や診療所を選ぶことが大切なのね。

かかりつけ医を持ちましょう

かかりつけ医とは、本人や家族の身体の状態を把握し、日常の健康管理や体調の変化などを気軽に相談できる身近な主治医のことです。かかりつけ医を持つことで、以下のメリットがあります。

- ・入院や高度な治療が必要な場合に、適切な病院(診療科)を紹介してくれます。
- ・日常の健康管理の相談にも応じてくれます。
- ・本人や家族の病状や病歴、家族構成、アレルギーの有無などを把握していることで、もしもの時に素早い対応をしてくれます。

近くのかかりつけ医を探すにはこちらをご覧ください。



かながわ医療情報検索サービス

※診療科目、曜日、市町村、最寄駅などから、診療所等が検索できます。

在宅医療を推進しています



病気になって医療を受けることができるのは、外来や入院だけではなく。訪問診療医や訪問看護師などが、通院が難しい人の自宅や施設を訪問して診療を行う在宅医療もあります。県内では、在宅医療の充実に向けた取組みが進められています。まずは、かかりつけ医や院内の医療相談室、市町村の医療や介護の相談窓口にご相談してみましょう。

病気になったとしてもできるだけ住み慣れたところで過ごしたいよね。



神奈川県

どうなる？ 将来の 神奈川の医療

将来も安心して医療を受けられる神奈川を目指して

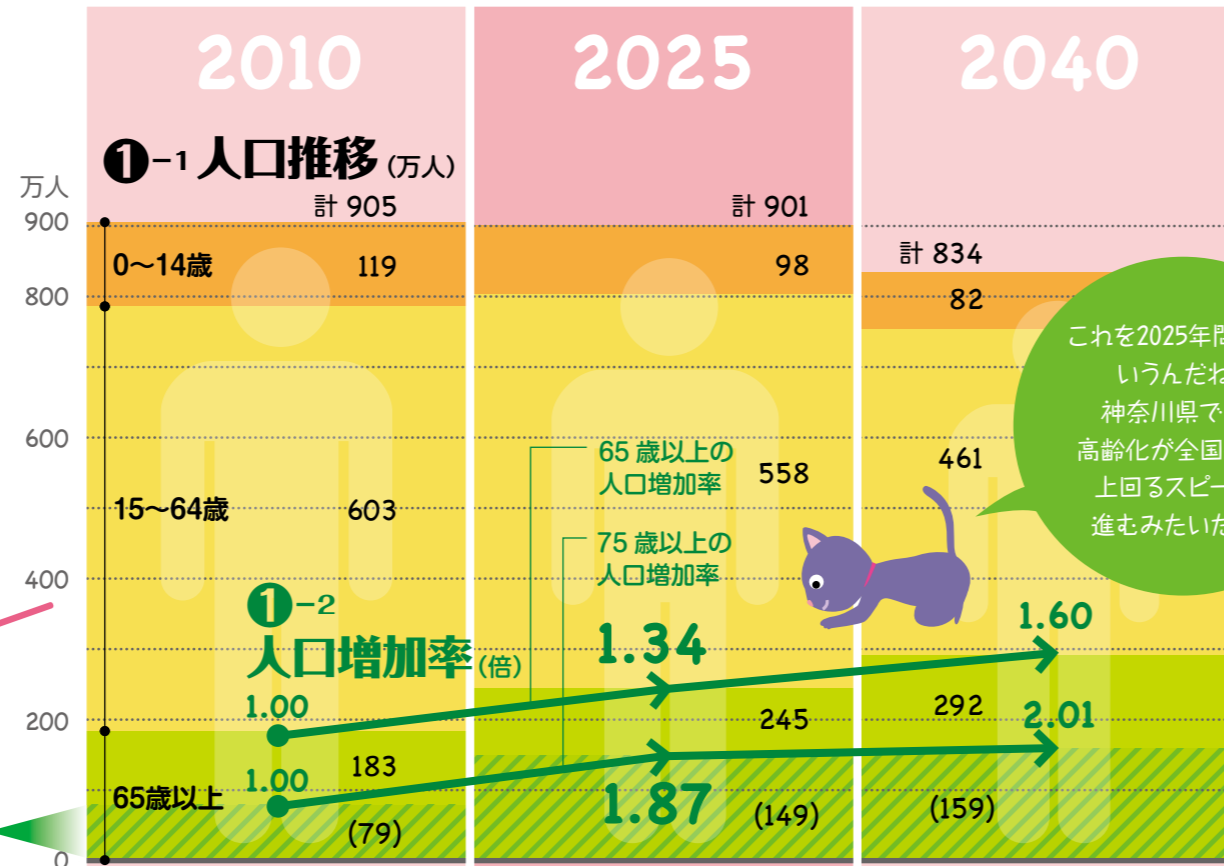


神奈川県将来の医療を取り巻く環境はどう変化するの？

① 高齢者の人口が増加します

県の総人口は、2020年には減少することが見込まれていますが、75歳以上の人口は2025年には、2010年と比べると1.87倍になることが見込まれています。

2025年には、人口は減るけど、高齢者は増えるんだね。神奈川県でも3.6人に1人が65歳以上、6人に1人が75歳以上になるんだ。

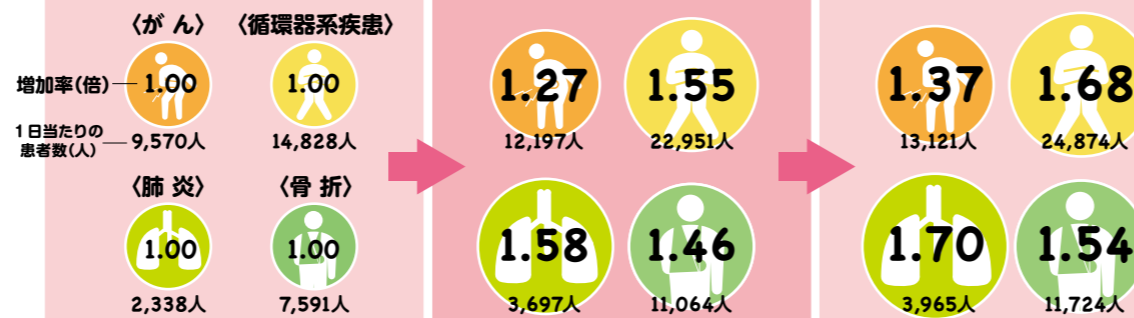


これを2025年問題っていうんだね。神奈川県では、高齢化が全国平均を上回るスピードで進むみたいだよ。

② 病気などで入院する人が増えます

2025年には、がんの患者が、2010年と比べて1.27倍に、急性心筋梗塞や脳卒中などの循環器系疾患の患者は1.55倍に、肺炎の患者は1.58倍に、骨折の患者は1.46倍に増加すると推計されています。また、入院患者数は、2013年と比べて1.28倍に増加することが見込まれています。

② がん・循環器系疾患・肺炎・骨折の患者の推移



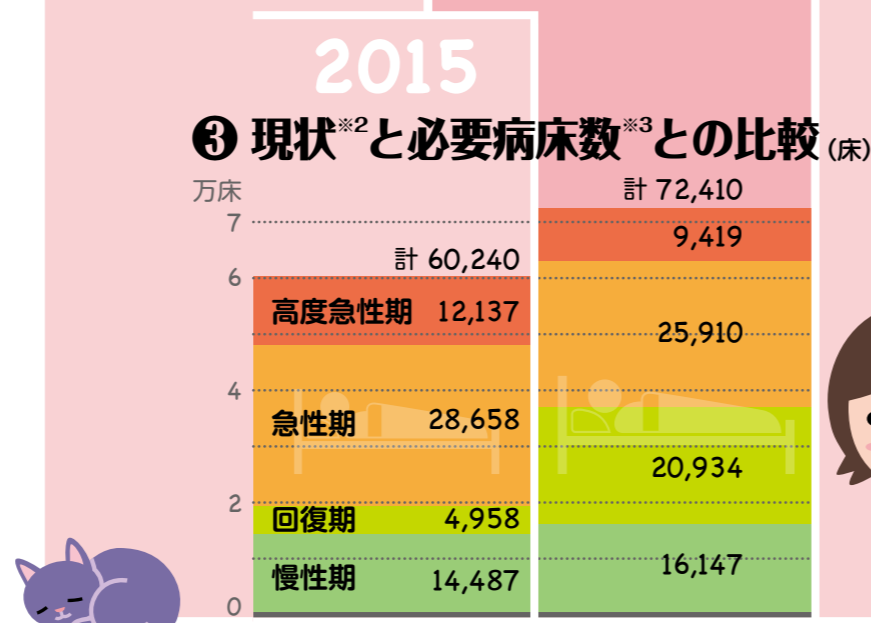
高齢になると病気にかかりやすくなるから、医療や介護ニーズが増えるんだ！

③ リハビリを提供するためのベッドなどが不足することが見込まれています

県では、入院ベッドの機能を必要な治療の内容に応じて4つに分け^{※1}、将来必要になる入院ベッド数を推計しています。その結果、2025年には特に手術後のリハビリや在宅復帰に向けた医療を提供するベッドが大幅に不足することが見込まれています。

※1 入院ベッドの4つの機能

高度急性期：集中治療など高度な技術や機械が必要な病気やけがの治療、検査を行う機能
 急性期：状態の早期の安定化に向けた一般的な入院医療を行う機能
 回復期：手術後のリハビリや在宅復帰に向けた治療を行う機能
 慢性期：難病患者など長期療養が必要な方に向けた医療を行う機能



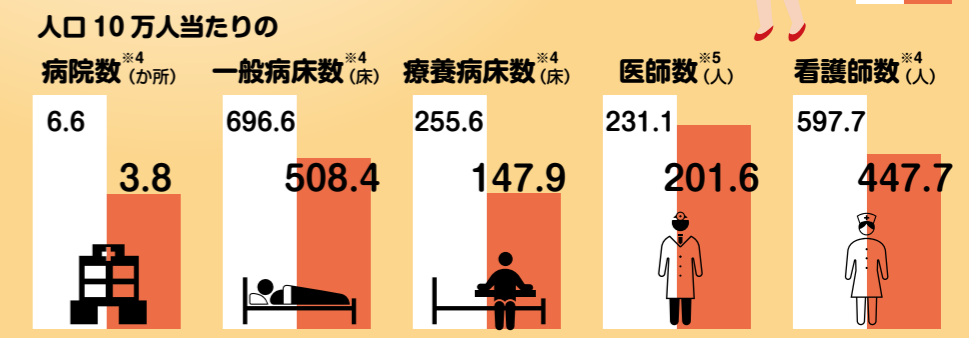
特にリハビリなどを提供するためのベッドが不足するんだね。入院に必要なベッドが足りなくなるのは私たちの生活にも影響が出そう。

※2 病床機能報告制度で報告された病床数 ※3 将来必要になる病床数の推計値

将来入院する人は増えるのに、病院の数や現場で働く人の数は、全国の中でもかなり少ないんだね。

病院の数や医療の現場で働く人の数は全国平均を下回っています。

人口10万人当たりの病院などの医療施設や、医師・看護師数は、全国平均を下回っています。



※4 厚生労働省「医療施設調査」(平成26年) ※5 厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」(平成26年)

県や地域ではどう対応するの？

2025年に向けて県や各地域が今後重点的に取り組むこと

神奈川県地域医療構想の中で、県や県内の9つの地域における2025年に向けた取り組みの方向性を示しています。県や各地域では、地域の病院・診療所関係者や医療保険者などと一緒に話し合いながら、それぞれの地域に必要なベッド機能の確保、在宅医療の充実、医療の現場で働く方々の確保に向けた取り組みを推進します。また、未病を改善する取り組みなど、健康寿命を延ばす取り組みを推進します。

- 将来において不足する病床機能の確保及び連携体制構築に向けた取り組み**
 - 病床機能の確保
 - 病床機能等の連携体制構築
 - 県民の適切な医療機関の選択や受療の促進に向けた普及啓発
- 地域包括ケアシステムの推進に向けた在宅医療の充実に係る取り組み**
 - 地域包括ケアシステムの推進に向けた在宅医療の基盤整備
 - 県民に向けた在宅医療の普及啓発及び患者・家族の負担軽減
- 将来の医療提供体制を支える医療従事者の確保・養成に向けた取り組み**
 - 医師、看護職員、歯科医師、薬剤師等の確保・養成
 - 病床機能の確保に伴い必要となる医療従事者の確保・養成
 - 在宅医療を担う人材の確保・育成

神奈川の将来のめざすは、誰もが元気でいきいきと暮らしながら、必要ときに身近な地域で質の高い医療・介護を安心して受けられる神奈川

